



一貫コース通信

夢と気概をもって

先日、満開の桜花に祝福されて福島成蹊中学校に14名が、高校生は237名が入学しました。校訓『桃李不言下自成蹊』の体現者たる“魅力溢れ問題解決能力を備えた篤実なヒト”となるべく共に励み邁進して参りましょう。主な活動域は上浜・腰浜の2つのキャンパスですが、常に先輩は後輩に対し思いやりと慈しみのところを、後輩は先輩へ尊敬の念を示して下さい。さて、この3月末に卒業した先輩方は、様々な場面でこれまでとは比較にならない大きな実績を残してくれました。新入生諸君はその後輩として、先輩達を超え次の歴史は自分達が創る…と言う“気概”を持って下さい。

ここで、改めて本校一貫コースの**教育理念**を認めます。

『本校の一貫コースは単に一流の大学に合格すれば良いと言うモノでは在りません。

一貫教育による人間教育を実践したいのです。『夢と気概を持って』努力するヒトは、他人の痛みに関心し、社会に感謝して生きる事が出来ます。単に自分だけでなく、社会に役立つために自分を鍛えようとするヒトを育てたいのです。これからの社会で求められるのは“心ある頭脳”ではないでしょうか。機械的な頭脳はAiの開発に象徴される様に社会に氾濫するでしょう。物事を深く、しかも多角的に洞察する力、他人の立場に立って考える事の出来る“こころ”、今抱えている課題を解決すべく新しいモノを生み出す想像力が、ヒトとして頭脳として価値があり、社会に役立つことが出来るのではないのでしょうか。

本校のカリキュラムは一つの科目に多くの時間を掛けるのが特徴の一つです。これは基礎学力としての教科に多角的で深い学習体験を与える為です。また、多くの鍛練的、文化的な学校行事を通じて、非日常的な体験学習をしてもらうのも、他人の痛みを理解し、その立場に立てるヒトになれると考えるからです。』

この理念の下に、生徒諸君は福島成蹊中高一貫コースに集ったのです。

そして、誰もが描く事の出来る将来の夢、憧れる自分の姿は果たしてどのようなモノでしょうか。思うに、それに近づくには“志”と仲間との“一体感”が重要です。

福島と日本の未来は諸君達の夢とこれから獲得する力に掛かっています。どうか、皆で励み、互いに切磋琢磨し邁進して参りましょう。

『天分、これを持たない者が居ようか。

才能、単なる子供の玩具。

努力こそが人を“ヒト”とし、

汗のみが天才を創る。』

ドイツの詩人 テオドール・フォンタン の言葉

